

JP 要約（日本語）

- 2013年4月24日午前8時57分頃、バングラデシュのサバール地区でラナ・プラザ（Rana Plaza）が崩壊した。
- 8階建ての商業ビルで、5つの縫製工場、銀行、店舗、アパートが入っていた。
- 崩壊により1,134人が死亡し、約2,500人が負傷した。
- 建物は埋め立て地の上に建設され、違法な階層増築や粗悪な資材使用が原因で構造的欠陥を抱えていた。
- 崩壊前日に大きな亀裂が発見され、下層階の店や銀行は閉鎖したが、工場経営者は労働者に出勤を強制した。
- この事故は、ファストファッション業界における劣悪な労働安全、人件費削減圧力への国際的な注目を集めた。
- その後、世界のブランドや労働組合が参加する**「バングラデシュ建物・防火安全協定（Bangladesh Accord）」**が締結された。
- 協定により数千件の安全違反が是正され、工場の監督体制が強化された。
- しかし、低賃金や遵守不足などの問題は依然として残り、同様の悲劇が再発するリスクが指摘されている。
- ラナ・プラザ崩壊は、衣料品産業史上最悪の工場災害として象徴的存在となった。